

ライセンス第1

第1委員会

活動図

第2委員会

第1・第2合同委員会 正副委員長会

英文秘密
保持契約

判例による
対価算定基準

各国裁判
制度

・他の専門委員会とのコラボ：フェアトレ委員会
・知財活性化プロジェクトと連携した研究活動

中国企業と
の技術契約

業界別ライセンス
フレームワーク

アライアンスにおける
知財活用スキーム

英文秘密保持契約
マニュアル(中長期)

国内ライセンス契約
マニュアル(中長期)

各国裁判制度に関する
調査研究(中長期)

経営戦略に貢献するための
知財コンサルの在り方

来年度テーマ(予定)

PAE及びPAE対策
サービスの動向

IoT, AI, ビッグデータ等に
係る契約上の諸問題

実地調査に基づく日米
知財活性化の実態比較

ライセンス契約等・技術関連
契約締結前後の管理運用

ライセンス第1委員会

3.各国裁判制度が知財紛争解決に与える影響の調査研究 (中長期テーマ)

POINT

各国制度を“実務で遭遇する知財紛争”を軸にして対比
各国制度の違いによる影響を調査・研究する

◆対象とすべき“知財紛争”とは何か？

- 実務上発生し得る紛争の解決、予防、リスク評価に役立つものとして
- 知財紛争を網羅的に整理するため、紛争に分類を付与した資料を作成する！

◆各国法律や裁判制度に関する情報をいかに収集・整理するか？

- 各国裁判所、特許庁などが公開しているHPなどには、各国制度をまとめた資料が既に存在するものの、実務家目線で整理された資料は新規性アリ！

成果発表

資料集「知財紛争別各国知財制度の対比と実務上の対応」(仮)

第 2 委 員 会

活動方針

ライセンス契約等技術契約を取り巻く、国内外の実務上の課題に対する検討、要求度の高い情報の収集と整理、さらにこれらに基づく報告、提言を行うことにより、会員企業の契約実務に貢献する。

年間活動(2016年度)

- ◆ 小委員会:原則として月一回、小委員会ごとに実施
- ◆ 合同委員会
 - 4月:年間の活動キックオフ!
 - 10月:宿泊合宿:臨時編成グループによるディスカッション
 - 3月:委員会内成果発表
- ◆ その他の活動
 - 2月:日本知的財産仲裁センターとの意見交換会
 - 2月:特許庁・審査官ライセンシング研修
- ◆ その他、知財管理誌、資料集にて、精力的に意見発信しています!



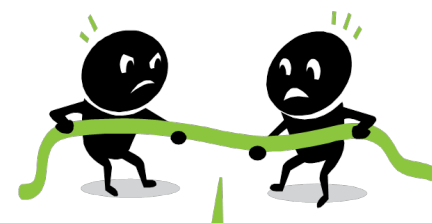
ライセンス第2委員会

1.アライアンスにおける知財活用スキームの調査・研究

POINT

“アライアンス”に際し、知財担当者はどのような観点をもって何をすべきだろうか?

- ◆ 近年のアライアンスの傾向、事例に関する調査・研究
 - アライアンス・知財活用のバリエーション
(垂直/水平/その他、ベンチャ、等)
- ◆ 各種タイプのアライアンスにおける知財関連の課題と対応
(契約サポート等)に関する調査・研究
 - 各フェーズにおいて知財担当者が留意すべき事項と対応



成果発表

論説「アライアンスにおける知財担当者の役割と留意点」(仮)

ライセンス第1委員会

1. 英文秘密保持契約の実務に関する調査研究(中長期テーマ)

POINT

英文秘密保持契約に関するマニュアルを作る！

◆ 課題

- 英文秘密保持契約を見る機会が多いけど。
- どこに注意すればいいのか。
- そんな疑問にお答えできるマニュアルを目指します！



成果発表

資料集「英文秘密保持契約実務マニュアル」(2017年度完成予定)

ライセンス第1委員会

2. 業界別ライセンスフレームワークの比較検討及び契約実務上の留意点の調査研究(独占的ライセンス～包括クロス)

POINT

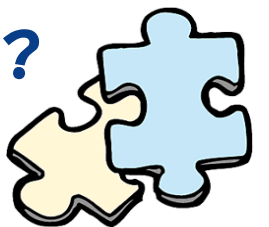
技術の進展・グローバル化により業界の枠を超えた競争・連携が必要な現在の「業界別ライセンス」を整理

◆ 産業構造や市場環境の急速な変化にどう対応するか

- 業界の境界が曖昧になり、異業種との競争や連携は避けられない！
- 他業種参入・アライアンス時、ライセンスポリシーは衝突しないか？

◆ 各業界のライセンスポリシーと、その特徴を解明

- 各業界の特徴的なライセンス形態や契約条項は、ビジネスモデル由来
- 自業界のビジネスモデルが変わると、他業界に参入すると…どうなる？



成果発表

論説「業界別ライセンスポリシーに見るビジネスモデルと知財の相関」(仮)

2.中国との技術契約に関する実務上の留意点の調査研究

POINT

**中国企業との技術契約終了を見据え、
日本企業はどのような措置を取ればよいか？！**

- ◆ 中国が独自開発を推し進めるという政策あり。
 - 中国企業との技術供与等の技術契約が終了となる可能性あり。
- ◆ 例えば、技術供与契約の終了の留意点
 - 中国企業に対し継続実施不可を要求する場合
 - 中国企業に対し無償or有償による実施を許可する場合
- ◆ 契約終了後の改良技術や保証責任の取扱、提供した技術情報の返還の実態など



成果発表

論説「中国企業との技術契約終了を見据えた日本企業の取り得る措置」

3.対価算定に関する判例に基づく特許価値評価手法の調査研究

POINT

**特許の価値評価にまつわる諸問題について
ライセンス実務に応用可能な留意点を整理**

- ◆ 特許の価値評価を想定して、契約で考慮すべきこと、争いにおいて契約を基に主張すべきことはないか
 - 既存のライセンス契約が、その他の争いにおける対価算定に与える影響とは？
(契約解除後の争いや、他の契約での実施料率が考慮されるなどについて検討)
- ◆ 特許の価値評価について、予測可能性を高められないか
 - 顧客の対象製品の購入動機など、様々な背景事情が、どのように対価算定に影響するか？



成果発表

論説「判例に基づく特許権の対価算定に関する実務上の留意点」(仮)